





いばらき県議会だより

No.228

〈県議会HP〉
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
 本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています



〈いばキラTV〉
<https://ibakira.tv>
 本会議および予算特別委員会を生中継しています



〈県議会公式X〉
https://twitter.com/ibaraki_kengikai



〈県公式LINE〉
<https://lin.ee/6xV7ZlQ>



発行：茨城県議会
 編集：県議会情報委員会
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6
 Tel.029-301-5646 [年4回発行]
 ※音声版・点字版の県議会だよりも作成しています



水戸 第64回水戸黄門まつり

8月3日(土)・4日(日)

会場 国道50号(水戸駅北口～大工町交差点)
<https://mitokoumon.com/koumon/>



つくば まつりつくば2024

8月24日(土)・25日(日)

会場 つくばエクスプレス「つくば駅」周辺
<https://matsuri-tsukuba.com>



境 第37回利根川大花火大会

9月14日(土)

会場 境町利根川河川敷
<https://www.sakai-hanabi.com>



石岡 石岡のおまつり

9月14日(土)～16日(月・祝)

会場 石岡駅～中心商店街全域
https://www.city.ishioka.lg.jp/ishiokameguri/omatsuri/omatsuri_gaiyo/



いばらきの夏



第2回定例会の概要

令和6年第2回定例会は、6月4日から6月20日まで17日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県健康長寿日本一を目指す条例、茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民診療条例の一部を改正する条例など、知事から令和6年度茨城県一般会計補正予算、茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問は、いじめ防止対策、子どもの意見表明等支援の推進、茨城空港の利用促進及び空港周辺の振興などの項目について行われました。(2～3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、県庁内保育所の一時利用手続きの簡略化などについて議論されました。(4面)

予算特別委員会では、不法滞在外国人による犯罪対策、つくばサイエンス高校の志願者確保対策、牛久沼の越水要因とその対策などについて質疑が行われました。(5面)

交通政策・物流問題調査特別委員会では、有識者から意見を伺うとともに、執行部から「地域の実情に応じた移動手段の確保」について説明を聴取するなど、活発な議論が交わされました。(8面)

県有施設・県出資団体等調査特別委員会では、現状、課題、対応方針について、執行部からの説明聴取、質疑などを行い、活発な議論が交わされました。(8面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書など19件の議案が可決、同意、承認されました。

第2回定例会の主な日程

令和6年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

6月4日(火)	本会	議	(開会、知事提出議案説明)
6月7日(金)	本会	議	
8日(土)	本会	議	
10日(月)	本会	議	(一般質問・質疑)
6月12日(水)	常任委員会	議	
13日(木)	本会	議	
6月14日(金)	本会	議	
6月17日(月)	予算特別委員会	議	(予算関係議案常任委員長報告等)
6月18日(火)	交通政策・物流問題調査特別委員会	議	
6月19日(水)	県有施設・県出資団体等調査特別委員会	議	
6月20日(木)	本会	議	(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

6月7日(金)	高橋 勝則 議員 (いばらき自民党)
6月8日(土)	木村 喜一 議員 (いばらき自民党)
6月10日(月)	飯田 智男 議員 (いばらき自民党)
6月10日(月)	高橋 直子 議員 (いばらき自民党)
6月10日(月)	村田 康成 議員 (いばらき自民党)
6月10日(月)	高安 博明 議員 (国民民主党)
6月10日(月)	松田 千春 議員 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶
https://ibaraki-pref.stream.jfif.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=168



議員 村本 修司
公立市選出

子どもの意見表明等支援の推進

議員 子どもアドボカシー※1について、一日でも早く茨城県に根付くようにしたい。県は、早期定着に向け、子どもの意見表明等支援の推進に、今後どのように取り組んでいくのか。

福祉部長 意見表明等支援員が子どもの意見を聞き取り、代弁し、関係機関と調整を行う「意見表明等支援事業」の実施に向け準備を進めている。本年10月を目途に、一時保護中の子どもを対象に支援員の派遣事業を開始する。

若年・高齢世代の融合した住みやすい県営住宅

議員 若年世代・高齢世代、それぞれの課題を踏まえ、両世代が融合した住みやすい県営住宅を構築すべきと考えるが、所見は。

土木部長 入居者ニーズに合わせた改修やバリアフリー化、子育て世帯の当選率の優遇措置、シルバーハウジング事業※2など、若年世帯・高齢世帯双方が住みやすい県営住宅構築に向け、ハード・ソフト両面から引き続き支援を行う。(ほかに、障害者差別解消法改正に伴う合理的配慮提供の義務化への対応なども質問)



意見表明等支援員は、子どもの意見をよく聞き取り、関係者へ伝えるマイクとなる存在



議員 長谷川 重幸
いばらき自民党
鉦田市・茨城町・大洗町選出

茨城県食と農を守るための条例の目的達成に向けた取組

議員 条例の制定による効果を県民に実感してもらえよう取り組んでほしいと考えるが、所見は。

知事 条例の基本理念である食料の将来にわたる安定的な供給や農業・農村の持続的な発展を目指し、有機農業の推進や農地の集積・集約、荒廃農地の再生、多様な担い手の確保・育成、海外市場の開拓や輸出拡大などに関係団体と連携し取り組むとともに、PDCAに基づき不測の検証を行いながら、県としての責務を果たしていく。

教育現場におけるデジタル化の推進

議員 教員の負担を減らすためのデジタル化をどう推進するのか。

教育長 今年度、市町村教育委員会や県立学校とクラウド型の校務支援システムの導入や、市町村との共同利用の可能性などの検討を始めた。教員が児童・生徒と向き合う時間を確保するため、業務効率化に積極的に取り組む。(ほかに、農業者が将来に希望を持つことのできる農業生産資材価格高騰対策、涸沼水鳥・湿地センター及び周辺地域の魅力発信と利活用なども質問)



茨城の誇る農産物



議員 高橋 勝則
いばらき自民党
古河市選出

いじめ防止対策

議員 全国のいじめ認知件数が増えている中、子どもを守るためには、社会総掛かりでいじめ問題に取り組むべきと考えるが、いじめ防止対策の現状と今後の方向性は。教育長 児童生徒がいじめに向かわないよう、自他を尊重する態度を育成しているほか、学校生活アンケートや面談、家庭訪問、オンライン相談窓口の設置、警察などとの連携強化を行っている。引き続き、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に全力で取り組む。

建設業における働き方改革

議員 建設業にも時間外労働の罰則付き上限規制が適用されたが、働き方改革に対する県の支援は。土木部長 適正な予定価格や工期の設定、週休二日制での施工義務付けなどによる就労環境改善や、ICT活用などによる生産性向上を図ることにより、支援していく。また、民間工事への働き掛け、市町村の取り組みへの支援、関係団体との意見交換などを行っていく。(ほかに、自殺対策の充実、シニアシップ教育の県立高校での取組なども質問)



議員 木村 喜一
いばらき自民党
小美玉市選出

茨城空港の利用促進及び空港周辺の振興

議員 茨城空港のさらなる利便性向上や路線誘致などの利用促進、空港を核とした周辺整備やにぎわいづくりについて、どのように取り組んでいくのか。

知事 国内外の航空会社などに対し、茨城空港への乗り入れの提案をより積極的に行っていく。また、小美玉市が進めるホテル誘致についても、市とコミュニケーションを図りながら、周辺地域の振興に向けて連携・協力し、空港の発展に必要な取り組みを進めていく。

議員 国際情勢が不安定な中にもあっても、農畜産業の経営を継続させていく施策や、農業者の収益となり得るJークレジット制度の推進を求めるが、所見は。農林水産部長 飼料、肥料の国内自給化や、化学肥料に過度に依存しない栽培体系への転換を推進していく。Jークレジット制度については、農業者が取り組みやすい技術の拡充を国に要望していく。(ほかに、茨城空港テクノパークの企業誘致、在宅医療のさらなる推進なども質問)



茨城空港におけるビジネスジェットの運航



議員 村田 康成
いばらき自民党
神栖市選出

鹿島セントラルホテル等の地域資源を生かした鹿行地域の振興策

議員 同ホテルについては、昨年6月に突然、県から民間への譲渡方針が報道された後、議会や地域住民、ホテル関係者との議論を重ね、民間譲渡の結論に至った。これを教訓とし、引き続き同ホテルに関わり、地域振興策を講じてほしいが、どう関与していくのか。

政策企画部長 譲渡の優先交渉権者は、地域に根差したホテルを目指す方針である。神栖市など同社の取り組みを支援し、地域にぎわいの拠点となるよう注力する。

議員 市民1万人の要望を受け止めた新設の英断に感謝する。入学する子どもたちのため、特別支援教育体制をどう整備していくのか。教育長 神栖市須田地内への新設により、通学時間が最長約40分に半減する見込みで、令和9年4月開校に向け、来年度から着工予定である。児童生徒の教育的ニーズに寄り添って支援し、医療、福祉労働などの関係機関と連携の上、自立と社会参加に向けて取り組む。(ほかに、鹿行保健医療圏の医師・看護師の偏在の解消策なども質問)



鹿島開発のシンボルホテル鹿島セントラルホテル

一般質問(要旨)



高橋 直子 議員
いばらき自民党
土浦市選出

育児休業の「育業」化による 男性の子育て意識の変革

議員 男性県職員の育児休業取得率は高いと聞いているが、「小1の壁」に代表される諸問題乗り越えるためには、男性の子育て意識の変革が不可欠であると考え、今後どのように進めていくのか。
知事 夫婦間の子育てや家事の分担のチェックシートの配付などにより意識の変革を促すとともに、育児に係る特別休暇の拡充など、職場環境づくりを進めている。企業への意識啓発に取り組み、県全体で男性の育児参画を進めていく。



杉田 千春 議員
いばらき自民党
潮来市・行方市選出

公的医療機関であるなめがた 地域医療センターの現状と将来

議員 なめがた地域医療センターの今後の在り方についての所見は。
知事 同センターの現行体制への移行は、経営主体が地元と話し合いを重ね、合意に至ったものであり、今後の役割は、経営主体が地元と協議する課題である。経営主体と行方市は地域医療に係る連携協力に関する協定を締結しており、県としては、鹿行地域の医療提供体制の維持・向上の観点から、行方市とともに、経営主体に最大限協力するように働き掛けていく。



なめがた地域医療センター

安心して子どもを預け、 仕事ができる保育環境の整備

議員 仕事と育児の両立を支援するためには、男性の育児参画とともに、実効性のある病児保育施設の充実が必要であると考え、所見は。

福祉部長 施設整備や人材確保とともに、既存施設が十分に活用されるよう、保護者向けの広報活動に積極的に取り組む。また、市町村と連携し、地域のニーズの調査や登録手続きの簡素化なども図る。(ほかに、小学生を対象としたフッ化物洗口、多様化するニーズに因應するための避難所づくりなども質問)



育業は「休み」ではなく「未来を育む大切なこと」だから「育休」ではなく「育業」です(東京都ホームページより)

霞ヶ浦導水事業

議員 北浦の水質浄化のための堅倉立坑から巴川を経由しての北浦への通水工事や水力発電施設の設置が必要だと考えるが、所見は。

政策企画部長 北浦への通水には、整備費用の整理や現行計画で期待される西浦の水質浄化への影響評価など解決すべき課題も多い。水力発電施設の設置も費用対効果の確認が必要であるが、提案内容は国に伝えていく。(ほかに、全国育樹祭の成果と水郷県民の森の利活用と整備、おいしい茨城のお米の宣伝戦略なども質問)



高安 博明 議員
国民民主党
日立市選出

県北地域振興の要となる新たな チャレンジプランNEXT

議員 今年3月に県北振興チャレンジプランが改定され、チャレンジプランNEXTに発展を遂げた。改定趣旨や考えは。また、自治体との連携などどう取り組むのか。
知事 新プランでは、仕事づくり、にぎわいづくり、人づくりの3つの柱の下、各種施策の推進のほか、県北地域の取り組み成果を他地域に波及させる。今後も県北6市町と連携し、その取り組みを積極的に応援するなど、全庁一丸となつて県北地域の活力を高めていく。



飯田 智男 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

橋梁の適切な維持管理

議員 県内の橋梁には、塗装の傷みが目立つ常総市内の美妻橋など、必要な修繕がなされているのか不安を感じる箇所もある。橋梁の老朽化が進む中、その適切な維持管理にどう取り組んでいくのか。

土木部長 5年に1度の点検結果に基づき、早期に措置すべき橋梁などから優先的に修繕を実施している。美妻橋については、予防保全の観点から措置が必要であるため、今年度、再塗装の実施に向けた設計を行う予定である。



鬼怒川に架かる美妻橋

部活動地域移行の将来ビジョン

議員 部活動の地域移行により、質の高い指導を受けられるなどさまざまな変化が期待できるが、将来ビジョンをどう考えているのか。教育長 休日部活動の地域移行は、多世代での豊かな交流や多種目の活動体験など、子どもの興味や可能性の広がり期待できる。地域の実態に応じた地域移行の実現を目指し、市町村との連携などで休日部活動の地域移行に取り組む。

(ほかに、避難所における支援体制、再生可能エネルギーの導入促進なども質問)



常陸国ロングトレイルの様子

民生委員のなり手確保

議員 本県の民生委員は、60歳代以上が全体の9割を超えている。若い世代への働き掛けを含め、民生委員のなり手確保に向けて、どのように取り組んでいくのか。

福祉部長 幅広い世代に向けて、民生委員の活動内容ややりがいについて理解を深めてもらうための広報啓発に努めていく。特に、若い世代に対しては、SNSの活用などによる効果的な広報に取り組み、裾野の拡大を推進していく。(ほかに、県職員の人材流出対策、地域公共交通の充実なども質問)

今定例会で可決された議案

- ◆議員提出
 - 茨城県健康長寿日本一を目指す条例
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県がん検診を推進し、がん向き合うための県民参療条例の一部を改正する条例
 - ◆意見書
 - 持続可能な農業・農村の実現及び食料安全保障の更なる強化を求める意見書
- ◆知事提出
 - ◆令和6年度補正予算関係
 - 一般会計補正予算
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
 - 茨城県県税条例等の一部を改正する条例
 - ◆人事
 - 副知事の選任について
 - ◆報告
 - 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について
 - ◆その他
 - 工事請負契約の締結について(県庁舎ヒートポンプ更新工事) ほか5件

※意見書の全文は議会ホームページでご覧いただけます。
https://www.pref.ibaraki.jp/shikai/kyorin/kyorin202407_pdf/kensyo.htm#1



決算特別委員会を設置しました

令和5年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、15人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置しました。今後、決算の総合的な概要について説明聴取した後、部門別審査を行い、第4回定例会の開会日に決算関係議案の採決を行う予定です。

委員長	戸井田 和之	委員	横田 透
副委員長	高橋 勝則	委員	八島 功男
委員	川津 隆	委員	大足 光司
委員	飯田 智男	委員	中山 一生
委員	磯崎 達也	委員	玉造 順一
委員	長谷川 重幸	委員	うの のぶこ
委員	豊田 茂	委員	秋 嘉一
委員	木村 喜一	委員	

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

畑作物の直接支払交付金の単価引き下げへの対応は現場の声を国に伝えつつ、収量・品質向上などに取り組む

問 令和5年度に麦・大豆を対象とする畑作物の直接支払交付金の交付単価が引き下げられたが、県の対応は。

答 交付単価は国が決めるため、県では現場の声を国に伝えるとともに、排水対策指導などの徹底による収量・品質向上やパン小麦のように業者と価格交渉が行えるような取り組みの横展開を図っていく。

問 重点市場インバウンド誘客促進事業において、韓国からのゴルフ客に着目した理由は。

答 韓国のゴルフ人口は約600万人であり、韓国内のゴルフ場数が少ないことから、

海外でゴルフをする人が多い。本事業を通して、リピーターになってもらえるよう、取り組んでいく。

(ほかに、笠間栗ファクトリーへの経営参画方針、D C #1の成果とアフターD Cの目標なども質問)



韓国からのゴルフツアー

総務企画委員会

県庁内保育所の一時利用手続きの簡略化は実情を確認の上、対応について検討したい

問 県庁内保育所に県議会傍聴者などが一時的に託児する場合であっても、事前面談や慣らし保育など時間を要する手続きが必要で、利用しにくいと考えるが、所見は。

答 保育側として、子どもの安全確保のための手続きとして、対応について検討したい。

問 県北振興は、部局横断的な連携を図るとともに、個々の事業の小さな成果ではなく、人口増加などの大きな成果を期待しているが、所見は。

答 県北地域は、人口の減少が激しく、重要な課題と認識している。市町と連携し経済効果の創出、その成果の検証などに努め、活力のある県北地域の実現のため、県北振興局が旗振り役となって全庁的な取り組みを進めていく。

(ほかに、住民提案の現状、TX土浦延伸の早期実現に係る取り組みなども質問)



常陸国ロングトレイルのコースとなっている生瀬富士(大子町)

土木企業立地推進委員会

新たな県営住宅の供給の在り方は活用策を今後検討していく

問 時代が変化している中で、空き住戸をオリンピック選手や企業の社宅に利用してもらいなど、新たな県営住宅の供給の在り方を考えてみてほしいと考えるが、所見は。

答 ウクライナ避難民や災害による被災者に提供するなど、低額所得者に限らず県営住宅を活用している。法令などによるハードルはあるが、県営住宅の活用策について今後検討していく。

問 新たに立地した企業の雇用確保に向けた取り組みは。

答 県内の高校などを対象にした立地企業説明会や、大学・研究機関とのインターンシップ

おおよび共同研究を目的とした個別マッチングを行っている。今後も立地企業のニーズに応じた支援を行っていく。

(ほかに、企業局におけるDX推進計画の進捗状況、盛土規制法の運用なども質問)



県内の高校などを対象にした立地企業説明会の様子(令和5年5月開催)

防災環境産業委員会

特定外来生物キョンの報奨金制度の周知のための取り組みはさまざまな報奨媒体のほか、市町村 猟友会などと協力しながら周知している

問 今年5月、キョンの目撃情報や捕獲に対する報奨金制度を県で創設したが、周知のための取り組みは。

答 目撃情報の収集には、報奨金制度をしっかりと周知することが重要であり、現在もさまざまな広報媒体での発信のほか、市町村、猟友会などと協力しながら周知している。

問 再生資源物の適正保管について、県の取り組みは。

答 既存事業場から漏れなく届け出させることが重要なため、中国語などのリーフレットにより、昨年度に把握した全事業場に個別訪問し、届け出指導を実施した。今年度も、

市町村から、囲いで内部が確認できない施設などの情報を得て、個別訪問を徹底する。

(ほかに、いばらき原子力防災アプリのUPZ #2外の住民への運用、就職支援における新規立地企業と県との連携なども質問)



特定外来生物のキョン

文教警察委員会

小中学校の適正規模化に向けた市町村への働き掛けの必要性について所見は市町村の状況を踏まえ助言を行うなど連携を図っていく

問 児童生徒数が減少する中にあるにもかかわらず、小中学校が適切な教育環境を提供できる規模となるよう、県が市町村に対し、統合の実施などについて働き掛けが必要だと考えるが、所見は。

答 小中学校の適正規模化に向け、設置者である市町村の状況や意向を尊重しながら、県として必要な助言を行うなど、連携を図っていく。

問 県内で大きな被害を生んでいるSNS型ロマンス詐欺※4の抑止に向けた警察の取り組みは。

答 巡回連絡を活用し、手口の周知や注意喚起を徹底する

とともに、いばらきポリス※5や各種メディアを活用した広報活動、金融機関などと連携した水際対策を推進していく。

(ほかに、不法滞在外国人による犯罪への対策、県内への校内フリースクール展開に向けた取り組みなども質問)



多様化する詐欺の手口のイメージ(左: SNS型投資詐欺 右: SNS型ロマンス詐欺)

保健福祉医療委員会

こども病院の救急患者増加による経営への影響は救急は経営的には厳しいが地域の小児救急体制を守っていく

問 こども病院の赤字の要因はコロナ関連補助金の減少とのことだが、他に要因はないのか。救急患者は増えているようだが、収入との関係は。

答 出生数の減少も収入に影響している。救急医療は経営的には厳しいものの、県内全体で小児救急医療体制の維持が難しくなっている中、こども病院が最後のとりでとしての役割を果たしていく。

問 指定障害者支援施設での虐待事案は絶対に許せない。再発防止にどう取り組むのか。

答 虐待はあってはならない。当該施設に対しては、県として前例のない処分を行った。

県の毅然とした態度を示すことで虐待抑止ひいては障害者の方々が安心して暮らせる場の創出につなげていく。

(ほかに、シルバリーハピリ体操に係る取り組み、地域医療医師修学資金貸与条例改正に伴う将来展望なども質問)



県立こども病院

予算特別委員会

●質疑者

6月17日(月)



こちらから▲録画映像をご覧いただけます。

- 石塚 隼人 (いばらき自民党)
- 山本 美和 (公明党)
- 長田 麻美 (日本維新の会)
- 秋元 勇人 (いばらき自民党)
- 櫻井 信幸 (茨城無所属の会)
- 高安 博明 (国民民主党)
- 川口 政弥 (いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=168

く、総合型選抜なども活用し、生徒の希望に応じた進学を支援していく。(ほかに、県立高校の学校図書館、建築物等震災対策事業なども質疑)

長田麻美委員(維新) 昨年6月に牛久沼が越水した要因とそれに対する県の対策は。また、ハード対策の今後のスケジュールは。
土木部長 牛久沼越水対策検討委員会において、越水の主要因は経年的な地盤変動による堤防の沈下と確認されたため、県では堤防のかさ上げや監視カメラの設置など、ハード・ソフトが一体となった対策を進めている。ハード対策は、現在、測量や地質調査を実施しており、今後1年程度を要する詳細設計が完了次第、工事に着手していく。(ほかに、リスクリングの推進、教員の確保および働き方改革なども質疑)

秋元勇人委員(自民) 本年4月に「茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例」が施行されたが、課題となる既存の屋外保管ヤードへの対応にどのように取り組むのか。
県民生活環境部長 既存事業者などへの説明会の開催や把握した全ての既存ヤードへの直接訪問など、条例の周知徹底に取り組むとともに、指導員の増員など立入検査体制を強化した。今後、保管基準などの遵守や期限内の届け出提出の指導、改善命令などの行政処分により、適正な対応を図っていく。(ほかに、中学校の部活動の地域移行、外国人材関連事業の拡充なども質疑)

櫻井信幸委員(茨無会) 最低賃金のさらなる引き上げにどう取り組むのか。
産業戦略部長 本県は、経済実態を示す総合指数が全国9位に対し、最低賃金額が全国15位にとどまっているため、

最低賃金の決定を担う茨城労働局などに対して経済実態が正しく反映されるよう働き掛けていく。一方、企業の収益力強化に向けた支援も重要であるため、事業場内の最低賃金を一定額以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資を行う企業へ助成することなどにより、賃上げを後押ししていく。(ほかに、健康寿命の延伸、軽小型消防自動車の導入促進なども質疑)

高安博明委員(国民) 昨年6月に巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進が開始した。今年6月から対象世帯の拡大に取り組むとしているが、1年間の成果と今後の取り組みは。
警察本部長 約49万3千世帯を訪問し、二七電話詐欺被害防止対策や歩行者事故防止対策などでさまざまな成果が出ている。自転車盗や新車の犯罪による被害が幅広い年齢層に生じているため、今年6月から、3年で県内123万世帯の一巡を目標に、対象者の年齢などに応じた働き掛けを実施している。(ほかに、医師の働き方改革、運送業の業務効率化支援なども質疑)

川口政弥委員(自民) 地元の取手市双葉地区では、昨年の大雨で浸水被害を受けた。再び出水期を迎えるに当たり、住民の不安払拭のため、県は、農業用排水路対策にどう取り組むのか。
農林水産部長 県では、湛水被害防止を目的とした土地改良施設の整備に対し、補助率を上げる措置を講じた。本年度も、市からの同地区周辺の農業用排水路のかさ上げ要望に対し、県は、必要な予算を確保する。今後も市や土地改良区からの相談内容に応じ、関係部局と連携して必要な対応をしていく。(ほかに、貨物運送事業者等における運送業2024年問題対策なども質疑)

令和6年度6月補正予算案が可決

災害発生時においても機能維持が必要な医療・社会福祉施設への再生可能エネルギーの導入や、木造住宅に対する耐震診断の促進など、防災・減災対策の強化を図るとともに、人口減少や人手不足などの課題に対応した事業構造の転換などを促進するために必要な予算を計上した令和6年度6月補正予算案(12億2300万円の増)が可決されました。

6月補正予算に計上された主な事業

- 1 防災・減災対策 4億8800万円
 - 新** 再生可能エネルギー導入レジリエンス強化関連事業(災害発生時に機能維持が必要な病院などにおける再生可能エネルギーの導入支援)
 - 建築物等震災対策事業(旧耐震基準の木造住宅における耐震診断の実施経費に対する補助)
- 2 事業構造の転換等の促進 7億3500万円
 - 新** 運送業2024年問題対策関連事業(貨物運送・乗合バス事業者が行うDXなどによる業務効率化に対する支援)
 - 新** 重点市場インバウンド誘客促進事業(ゴルフツーリズムやプロモーションによる観光事業者(宿泊・交通事業者など)の支援)
 - 新** 花絶景観光支援事業(花絶景を切り口としたコンテンツ造成支援など国内外からの誘客の促進)

休日議会を開催しました

県民の皆さまに議会活動を身近なものと感じていただき、その理解と参画を推進するため、6月8日(土)に「休日議会」を開催しました。令和3年第4回定例会に第1回を開催して以降、年に1回開催しています。

4回目となる今回の休日議会では、本会議を開き、3名の議員が一般質問・質疑を行う様子を370名の方々に傍聴していただきました。

開催に当たりましては、議会を傍聴しやすくするための取り組みとして、親子傍聴席の設置に加え、昨年度に引き続き議事室内で託児サービスを実施しました。



託児サービスの様子



傍聴席と本会議場の様子

委員会活動

総務企画委員会 (川口政弥委員長)

先端半導体の研究と「持続可能性自治体」を調査 (5/22)

先端半導体研究センター (つくば市)

先端半導体研究センターは、先端半導体関連の研究開発から社会実装、人材育成までを一貫して推進し、国内に先端半導体技術を確保することを目的として、令和5年10月に設立されました。

先端半導体研究センターが所属する産業技術総合研究所全体の概要説明を受けるとともに、先端半導体研究センターの成り立ち、現状、研究内容などについて説明を受け、施設を視察しました。



先端半導体研究について説明を受ける委員

つくばみらい市役所 (つくばみらい市)

つくばみらい市は県内唯一の「持続可能性自治体」に位置付けられ、現在、特につくばエクスプレスみらい平駅周辺において人口が増加傾向にあり、また、「圏央道インターパークつくばみらい」の整備により、周辺地域の活性化が期待されています。

市内を視察するとともに、市の概況および人口増加の要因、人口増加のサイクルを作る取り組みなどについて説明を受けました。



つくばみらい市内を視察する委員

防災環境産業委員会 (飯田智男委員長)

坂東市岩井モール商店街と職業能力開発訓練の実施状況を調査 (5/17)

坂東市岩井モール商店街連合会 (坂東市)

坂東市岩井モール商店街は、平成10年ごろに行政と一体となった商店街近代化事業を実施し、モニュメントの設置や電線の地中化などで近代的な商店街として注目を浴びました。現在は、季節ごとのイベント開催(ばんどう応援市、ひな祭りイベントなど)や市イベントとのコラボレーション(岩井の夏まつり、将門まつり)で魅力向上に努めています。商店街と行政が連携した取り組みや今後の課題について説明を受け、商店街を視察しました。



坂東市岩井モール商店街を視察する委員

ポリテクセンター茨城 (常総市)

ポリテクセンター茨城(茨城職業能力開発促進センター)は、地域の事業主や労働者のニーズに対応できる柔軟性と多様性を持った総合的な職業能力開発施設となることを目指して平成15年に運営開始されました。

機械、電気・電子分野など、生産現場の実態に即したものづくり分野において、実習を中心とした職業訓練を実施しています。

在職者・離職者向け支援の取り組み状況について説明を受け、施設内にて実際の訓練の様子などを視察しました。



職業訓練の様子を視察する委員

保健福祉医療委員会 (水柿一俊委員長)

医療を支える後発医薬品製造工場と潮来保健所を調査 (5/24)

沢井製薬(株)鹿島工場(神栖市)

沢井製薬(株)鹿島工場では、主に後発医薬品の経口固形剤の製造を行っており、3つの製剤棟において、抗がん剤や免疫抑制剤などの高活性製剤を含む90品目以上を製造しています。

工場長や品質保証の担当者から医薬品の製造過程や現在の薬不足の要因などについて説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



医薬品の製造過程などについて説明を受ける委員

潮来保健所(潮来市)

潮来保健所は、昭和53年5月に建築されてから46年が経過し、建て替えの時期を迎えています。同保健所において実施されている業務についての説明を受けるとともに、課題の聞き取りを行いました。

また、保健所を所管している保健政策課から保健所の建て替え・移転についての検討状況や整備の考え方について説明を受けるとともに、保健所内の視察を行いました。



保健所内を視察する委員

開会中の

営業戦略農林水産委員会 (長谷川重幸委員長)

米や常陸牛「煌」^{きらめき}などの輸出と農業の担い手確保・育成を調査 (5/23)

J A全農いばらき (茨城町)

J A全農いばらきでは、茨城県の農家組合員が生産する米・青果物・牛・豚・その他農畜産物の販売や、関連する生産資材・生活用品の供給、営農指導などを行っており、持続可能な農業のための生産基盤の確立や食農バリューチェーンの構築などに取り組んでいます。

事業内容および米や常陸牛「煌」などの輸出について説明を受けた後、「精米HACCP※」の認定を取得しているパールライス^{きらめき}の精米工場や、実需者のニーズに合わせて青果物の選別・梱包などを行って出荷するVF(ベジタブルフルーツ)ステーションなどの視察を行いました。



パールライスの精米工場を視察する委員

鯉淵学園農業栄養専門学校 (水戸市)

鯉淵学園農業栄養専門学校は、「タネまきから食卓まで」が学べる農と食の専門学校で、アグリビジネス科と食品栄養科のコラボによる実践教育により、農業を担う経営者・技術者や健康的な食生活を推進する栄養士などを養成しているほか、本格的に農業にチャレンジしたい方を対象とした短期研修なども行っています。

調査には、農業経営の実践を通じて技術・知識の習得を支援する日本農業実践学園が同席し、両校から学校概要や農業担い手の確保・育成策について説明を受けた後、広大なキャンパスを視察しました。



学校概要などについて説明を受ける委員

土木企業立地推進委員会 (黒部博英委員長)

本社機能移転強化促進補助金認定企業の新オフィスなどを調査 (5/16)

日立建機 (株) 土浦工場 (土浦市)

同社は、主に油圧ショベル、ホイールローダ、鉱山機械の分野で事業をグローバルに展開する建設機械メーカーです。県の本社機能移転強化促進補助金を活用し、県内外の研究開発拠点を集約した新オフィスを令和5年5月に稼働させました。

これまで各拠点に分散していた開発部門の技術者が集まることで、開発力のさらなる強化が期待されています。

同社の事業概要について説明を受けた後、新オフィスや工場の生産ラインを視察しました。



事業概要について説明を受ける委員

(仮称) つくばスマートインターチェンジ (つくば市)

(仮称) つくばスマートインターチェンジ (以下「スマートIC」) は、つくば市内で工事が進められている圏央道 (首都圏中央連絡自動車道) のスマートICです。

このスマートICにより、圏央道の利便性向上や地域のポテンシャルの向上、地域経済の活性化などの大きな整備効果が見込まれ、早期の完成が期待されています。

スマートICの概要についてNEXCO東日本 (東日本高速道路 (株)) から説明を受けた後、工事の進捗状況を調査しました。



工事の進捗状況を調査する委員

文教警察委員会 (金子晃久委員長)

小中一貫教育の取り組みと自治会の防犯活動を調査 (5/20)

龍ヶ崎市立中根台中学校 (龍ヶ崎市)

龍ヶ崎市立中根台中学校は、龍ヶ崎市版小中一貫教育に取り組み、「龍の子人づくり学習」として、子どもたちの「生きる力」を基盤とした「社会企画力育成」のための学習を行っています。

教育の取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



学校の取り組みについて説明を受ける委員

龍ヶ崎市南が丘自治会 (龍ヶ崎市)

龍ヶ崎市南が丘自治会では、茨城県「住宅対象窃盗抑止対策プラン」推進モデル地区の選定を受け、防犯や防災活動に力を入れており、地区内の防犯パトロールや防犯カメラの設置を行っています。

防犯活動などの内容について説明を受けた後、防犯カメラ設置状況を視察しました。



自治会が設置した防犯カメラを視察する委員

議会広報ポスターの図案を募集します

若者をはじめとした県民に分かりやすく参加しやすい県議会の環境づくりのため、令和6年7月1日から令和7年2月28日まで、学生・生徒の皆さまから議会広報ポスターの図案を募集します。

1 応募締切

第1回締切 令和6年9月30日、第2回締切 令和7年2月28日

2 応募資格

- (1) 県内の大学、高校、専修学校などに通学する学生・生徒
- (2) 県内在住で県外の大学、高校、専修学校などに通学する学生・生徒

※サークルなどの団体での応募も可能

3 募集部門

- (1) デザイン部門
- (2) 写真部門

4 選考方法、賞品

- ・ 選考は、茨城県議会情報委員会が募集要項に照らし厳正に行います。
- ・ 入選作品を制作された個人または団体には、ギフトカード1万円分を贈呈します。

※詳細は、茨城県議会ホームページをご確認ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/boshu/poster.htm>



令和5年度募集 入選作品(デザイン部門)

「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を開催しました

本委員会(田山東湖委員長)は、昨年7月の設置以降、これまで9回開催され、人口減少社会における県有施設の今後の方向性や県出資団体などの事業の在り方などについて、重点的に調査・検討を行ってまいりました。

昨年の第3回委員会(令和5年9月25日)において、執行部に対し「県有施設の運営方針の見直しなどについて、議会がきちんと関与していきけるよう、具体的な仕組みづくりの検討を進める」よう意見があったことを受けて、第2回定例会の各常任委員会では、執行部から、調査対象となった全ての公の施設などに関する運営状況の定期報告が行われたほか、第9回委員会(6月19日)においては、土木部が所管する県有施設および県出資団体などについて説明聴取を行い、活発な議論が交わされました。



6月19日に開催した第9回委員会の様子

県議会主催の講演会を開催しました

6月20日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。

講師には、境町長の橋本正裕氏をお招きし、「今、政治に必要なのはスピード感と説明責任(アカウンタビリティ)」と題し、お話をいただきました。

橋本氏からは、これからの自治体にはマーケティングとマネジメントが重要であり、境町のモデルを横展開し、財政難や少子高齢化など、全国の自治体が共通して持つ課題を解決していきたいこと、「一自治体が良ければいい」ではなく、「みんなを取り組み、日本全体が良くなっていくような自治体になっていきたい」、という思いなどが語られました。



橋本正裕氏による講演の様子

「交通政策・物流問題調査特別委員会」を開催しました

本委員会(石井邦一委員長)では、第1回委員会(5月27日)において、調査方針および調査活動計画を決定したほか、筑波大学教授の岡本直久氏より、「茨城県における公共交通の課題と論点」について説明いただき、意見交換を行いました。その後、執行部から、「広域的な移動を支える公共交通の維持」について説明を受け、質疑が行われました。

また、第2回委員会(6月18日)においては、茨城県バス協会会長の任田正史氏より、「茨城県のバス交通を巡る現状と課題」について、茨城県ハイヤー・タクシー協会会長の出野清秀氏より、「茨城県のタクシーを巡る現状と課題」について説明いただき、意見交換を行いました。その後、執行部から、「地域の実情に応じた移動手段の確保」について説明を受け、質疑が行われました。



6月18日に開催した第2回委員会の様子

議員提案により「茨城県健康長寿日本一を目指す条例」および「茨城県がん検診を推進し、がん向き合うための県民参療条例の一部を改正する条例」が制定されました

第2回定例会で、これらの条例が可決・成立し、令和6年6月25日から施行されています。

「茨城県健康長寿日本一を目指す条例」は、予防医学などの専門的な知見に基づき健康づくりに関する施策を策定・実施するために必要な情報の収集・分析などをはじめ、フレイル^{※1}の予防・改善まで含めた生活習慣病の予防や食生活の改善や運動の習慣化などによる生活習慣の改善、高齢者や女性の健康づくりなど、幅広く定めています。これにより、県民一人一人が、生涯にわたってウェルビーイング^{※2}で生き生きと暮らし活躍できる地域社会の実現と、健康寿命の延伸を目指します。

「茨城県がん検診を推進し、がん向き合うための県民参療条例の一部を改正する条例」は、平成27年12月に制定された条例について、国や県において新たに生じた動きや課題へ対応し、施策・支援体制の充実・強化を図るため、改正したものです。本県の議員提案政策条例は、これらの条例で27件目になります。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。

※条例全文はホームページをご覧ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/index.htm>



質疑に対する答弁を行う磯崎達也議員



質疑に対する答弁を行う星田弘司議員



条例の提案説明を行う戸井田和之議員

次回の、令和6年第3回定例会は、9月4日から10月1日までの28日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
9. 4	水	議会運営委員会、本会議(開会、知事提出議案説明)
5	木	休会(議案調査)
6	金	休会(議案調査)
7	土	
8	日	
9	月	議会運営委員会、本会議(代表質問・質疑)
10	火	本会議(代表質問・質疑)
11	水	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
12	木	本会議(一般質問・質疑)
13	金	本会議(一般質問・質疑)
14	土	
15	日	
16	月	(敬老の日)
17	火	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
18	水	休会(委員会審査準備)
19	木	休会(常任委員会)
20	金	休会(常任委員会)
21	土	
22	日	(秋分の日)
23	月	(振替休日)
24	火	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
25	水	休会(予算特別委員会)
26	木	休会(決算特別委員会)
27	金	休会(交通政策・物流問題調査特別委員会)
28	土	
29	日	
30	月	休会(県有施設・県出資団体等調査特別委員会)
10. 1	火	議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会)

いばらき県議会だより第227号掲載記事の訂正について

令和6年4月28日発行のいばらき県議会だより第227号の5面に掲載しました、一般質問(要旨)における江尻加那議員の見出しに誤りがありました。

お詫びして、次のように訂正いたします。

(誤) 県立医療大学、看護専門学校などの授業料値下げの撤回と学費負担の軽減
 (正) 県立医療大学、看護専門学校などの授業料値上げの撤回と学費負担の軽減